

たまには
どしてんと
開き直して
ずる休み
のんびり
のんびり
ああせ
ああせ
ああせ
ああせ
ああせ
ああせ



酷暑が続いた夏もやっと過ぎ去ろうとしています。皆さまにはこの夏、なにが思い出に残っているでしょうか。私はこの夏は現場焼けで皮がむけ、顔や腕など肌がずいぶん黒くなりました。

岬町の現場は九十九里浜の最南端にある高台に位置します。白い砂浜が弓形にきれいにカーブして水平線の彼方に溶け込んでいます。太平洋の大海原はくっきりまーるく空との境界に浮かんでいます。浜辺のさざなみの白いしぶきもサーファーたちが波を蹴る姿も見えます。すばらしいロケーションのもとで仕事を進めています。私にとってこの夏はこの岬から見えた風景が一番の思い出です。



コンクリート打ちは太平洋に流し込む心地がします

築40年N様邸の天井



初めてこのN邸を訪問しました。これが噂に聞いた唐傘天井でした。中村邸の和室3室にはそれぞれ3種の天井が施されていました。下から見た唐傘模様にはその技術に驚きました。上に塗られているのは漆喰です。欄間が片引き戸になっていて漆喰が塗ってあります。



左は舟底天井と呼んでいるもの、その下は、なんと呼んでいいのか、柂目模様とと板目模様が対角線をはさんで対象に張ってあります。これまた手の込んだものといえます。

弊社で施工した住まいですが、なんせ40年前のこと、初めて訪問する機会があったのでこのような天井を見ることができました。

無垢の木は古くなっても渋い味わいを醸し出します。色が濃くなってきて、むしろ美しくなったようにも感じます。

本物ならではの加齢美があります。

住まいに愛着を持って暮らしていけばきっと住宅は長持ちするはず。適材適所に材を選択して伝統の技術をもって味わいのある住まいをつくる。ここに私がめざす長命住宅の本質があるように感じました。木と漆喰のハーモニーは本当に素晴らしいものです。



発行者 ご連絡先
秋葉建設(株) 秋葉 忠夫
〒289-2163八日市場市南神崎52-1
電話0479-72-0814 FAX0479-72-0824
Eメール master@woody-akiba.com
HP URL <http://woody-akiba.com/>
ご意見ご感想お待ちしております。